

令和4年10月13日

マルキンだより



畜産PR大使「おーいたん」

公益社団法人 大分県畜産協会 TEL:097-545-6594
FAX:097-554-4049

第139号

令和4年8月分交付金概算払単価公表

肉用牛肥育経営安定交付金制度の令和4年8月分の交付金概算払単価が公表されましたので、精算払いを行います。

また、8月分の公表された交付金単価は、肉専用種52,190.3円、交雑種41,755.7円、乳用種43,320.8円の交付となります。

詳細につきましては、肉用牛肥育経営安定交付金制度の交付金単価について【令和4年8月分】(独立行政法人農畜産業振興機構発行)をご覧ください。

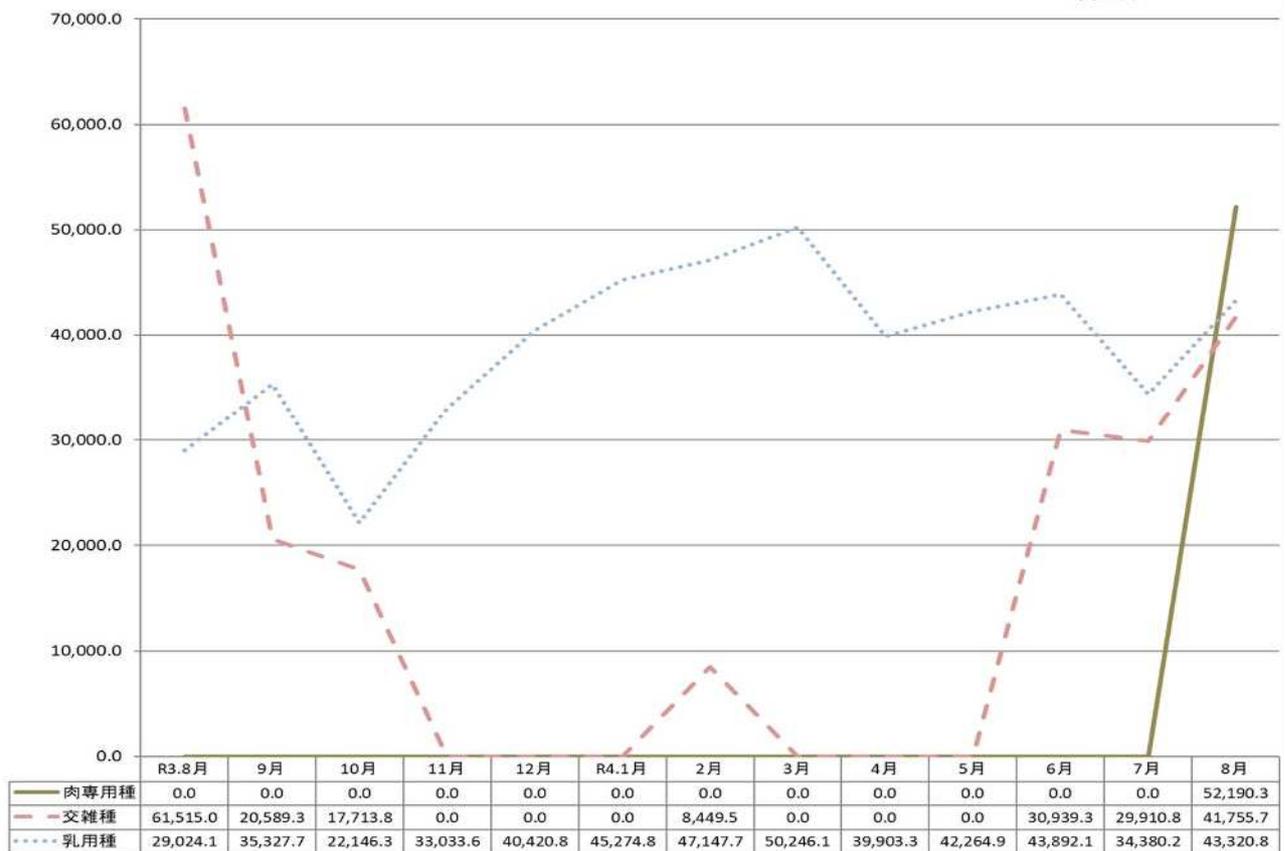
トピックス

●令和4年8月分の単価(概算払)が公表されました。

●8月分の交付金交付は、10月27日(木)を予定しております。

交付金発動状況

単位:円



牛マルキン事業に関するホームページ

★公益社団法人 大分県畜産協会 <http://oaita.lin.gr.jp/>

当協会のホームページです。マルキン情報の他、市場結果、種雄牛情報等も掲載しております。

★独立行政法人 農畜産業振興機構 https://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin_00002.html

補填金単価の公表の他、単価算定に関する各種参考資料等が掲載されております。

★畜産物の市況展望【牛肉】

9月の牛枝肉価格は、オミクロン株の感染状況が収束したことで緩やかに回復した。しかしながら、異常なまでの円安進行と生活必需品の相次ぐ値上げで消費は閉塞感が強く、シルバーウィークの手当てもそれほど盛り上がらなかった。従来であれば、量販店の棚替えでスライス材の荷動きが良化する時期にも関わらず伸び悩んだ。

8月の牛枝肉価格は、和牛は去勢A5が前月比155円安の2,483円（前年同月比104円安）、同A4は199円安の2,192円（同55円安）、同A3は183円安の2,004円（同11円安）、同A2は203円安の1,806円（同109円高）と大幅な値下がりとなり、2015年以降で最も低い水準となった。新型コロナの新規感染者数が過去最高に達し、飲食店の予約キャンセルが相次ぎ外食不振が顕著となったため。交雑牛はB4が3円高の1,702円（同47円安）、B3は50円安の1,496円（同88円安）、同B2は60円安の1,314円（同84円安）と2、3等級は需要の弱さで下振れした。

末端消費はヒレだけが先行し、「他部位はここまで売れないのかというくらい鈍い」（卸筋）。中国のロックダウンの影響でアジア圏への輸出は低調で、ロースの在庫が積み増しされにくい状況。円安の影響で輸入ビーフに使いつらさが出ている分、交雑やホルスに代替え需要を期待したいが、北米産のように単品を安定供給することはできず難しい。小売りは豚肉、鶏肉、ミンチなどの定番商材は動いているが、高単価商材の販売に苦慮している。特に和牛はふるさと納税の返礼品を活用するケースが増え、スーパーで購入する頻度は減少傾向にある。10月は食品価格の再値上げが控えており、原材コストが上昇の一途をたどる中、牛肉の消費喚起につながる話題が乏しく、関係者は頭を抱えている。「海外観光客が10万人規模にならないことには相場浮上は難しい」（外食）との指摘も。以上のことから上げ材料は少なく、和牛去勢A5で2,550円前後、A4で2,300～2,400円、A3で2,100円。交雑種は去勢B3で1,500円前後。

（※公益社団法人中央畜産会 発行 畜産コンサルタント誌10月号 抜粋）